

第 22 回 東北森林科学会大会

2017 年度(平成 29 年度)

プログラム

と き : 2017 年 8 月 24 日 (木) ~25 日 (金)

と ころ : 青森市文化観光交流施設 ねぶたの家 ワ・ラッセ

(〒030-0803 青森県青森市安方 1-1-1)

主 催 東北森林科学会
共 催 一般社団法人 日本森林学会
一般社団法人 日本森林技術協会
後 援 青森県
地方独立行政法人 青森県産業技術センター

第 22 回東北森林科学会大会運営委員会

〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目 18-8

岩手大学農学部森林科学科内

事務局 : 伊藤幸男 TEL & FAX 019-621-6280

E-mail : kikaku@tsfs.jp

大会に参加される皆様へ

受付

日時 8月24日(木) 午前10時より

場所 交流学習室(1)

受付時に大会講演要旨集を配布致します。また、事前に参加費、懇親会費をお振り込み頂いていない方は、受付時にお支払ください。

大会参加費(当日) (要旨集代を含む)	2,500円
懇親会参加費(当日)	4,500円

総会

日時 8月24日(木) 16:00-17:00

場所 イベントホール

懇親会

日時 8月24日(木) 17:30-19:30

場所 魚っ喰いの田(ワ・ラッセ内、青森市安方1-1-1、電話017-721-4499)

編集委員会

日時 8月24日(木) 10:30-11:30

場所 多目的室(1)(2階)

理事会

日時 8月24日(木) 11:30-13:00

場所 多目的室(1)(2階)

昼食、宿泊等について

昼食及び宿泊につきましては、各自でご対応いただきますようお願い致します。なるべく公共交通機関をご利用ください。

学生優秀発表賞の新設

本大会より、学生優秀発表賞(学生ポスター賞)が新設されました。学生が発表する24日のポスターセッションより選考し、同日の総会にて受賞者が発表されます。

大会日程

	8月24日(木)		8月25日(金)	
9:30				
10:00	受付		ポスター準備	口頭発表
10:30			ポスター準備	
11:00	編集委員会			
11:30	ポスターセッションA	理事会		
12:00				
12:30				
13:00		テーマ別セッションA	ポスター回収	
13:30				
14:00				
14:30	ポスター回収及び準備			
15:00				
15:30	東北森林科学会総会			
16:00				
16:30				
17:00				
17:30				
18:00				
18:30	懇親会			
19:00				
19:30				

テーマ別セッション

■ テーマA 8月24日(木) 13:00-16:00 〈イベントホール〉

被害先端地域でのマツ材線虫病対策の中での抵抗性マツ開発、生産の課題

コーディネーター：井城泰一（森林総合研究所 林木育種センター 東北育種場）

中島 剛（地方独立行政法人青森県産業技術センター林業研究所）

マツ材線虫病は依然として我が国最大級の森林病虫害であり、高緯度・高標高地域で拡大傾向にある。薬剤に依存しない対策としてマツノザイセンチュウに抵抗性を有するマツの植栽が有効であるが、被害先端地域である東北地方においてクリアすべき課題は少なくない。そこで、農食研事業「薬剤使用の制約に対応する松くい虫対策技術の刷新」では被害先端地で必要な抵抗性マツを供給するための研究に取り組んでいる。本セッションではこれらの取り組みについて、また海岸林における抵抗性マツ苗の供給について紹介し、意見交換を行いたい。

- 1 東北育種基本区におけるマツノザイセンチュウ抵抗性育種の研究について
井城泰一（森林総研林木育種セ東北）
- 2 強度な接種方法により淘汰した実生苗からの抵抗性クロマツの選抜の試み
宮下智弘・渡部公一（山形県森研セ）・井城泰一（森林総研林木育種セ東北）
- 3 未被害地域におけるクロマツ抵抗性品種の先行的増殖
中島 剛（青森県産技セ林研）・井城泰一（森林総研林木育種セ東北）
山野邊太郎（森林総研林木育種セ）・相川拓也・中村克典（森林総研東北）
- 4 東北地方太平洋沿岸の海岸防災林再生現場への抵抗性クロマツ苗木の供給
織部雄一朗・宮本尚子（森林総研林木育種セ東北）・山野邊太郎（森林総研林木育種セ）
丸山 毅（森林総研）・田中功二（青森県産技セ林研）・今野幸則（宮城県林技セ）
川上鉄也（福島県林研セ）・大西 昇（キリン株式会社 R&D 本部基盤技術研究所）
太田清蔵（宮城県農林種苗農業協同組合）
- 5 東北育種基本区選抜のアカマツ精英樹の節間長等の材質に関する諸特性
那須仁弥・井城泰一・宮本尚子（森林総研林木育種セ東北）・山野邊太郎（森林総研林木育種セ）

ポスターセッション

今大会も2日間に分けて実施します。セッション開始時刻までに、ご自分の番号（下記参照）のパネルにポスターを貼ってください。開催要領でご案内のとおり、パネルは「幅 120cm、高さ 180cm（縦長）」です。コアタイムには発表者はポスター前に立って説明し、質疑を受けて下さい。

ポスターセッション1日目

8月24日（木）11:30-14:30 〈交流学习室(1)〉

10:30-11:30 ポスター準備

11:30-12:30 コアタイム

14:30-16:00 ポスター回収

- 1 クロマツ針葉成分の新たな抽出方法について
佐藤愛美・芦谷竜矢・高橋孝悦（山形大農）
- 2 オオバクロモジの低極性成分分析
平塚悠騎・高橋孝悦・芦谷竜矢（山形大農）
- 3 ヒノキ樹皮逐次抽出物の藍藻 *Microcystis aeruginosa* に対する増殖抑制効果
千木良一道・鈴木佑梨（山形大農）・西條裕美（九州大院農）・城内智行（九環協）
高橋孝悦・芦谷竜矢（山形大農）
- 4 モウソウチク継続伐採による再生竹の3年間の変化
古澤優佳（山形県森研セ，岩手大院連合農）
- 5 宮城県牧の崎スギ天然林の樹種構成とサイズ構成
太田敬之・八木橋勉・野口麻穂子・齋藤智之・直江将司（森林総研東北）
- 6 クロマツおよびスギにおける溶液受粉法の効果の検討
宮本尚子・那須仁弥・織部雄一朗（森林総研林木育種セ東北）
- 7 宮城県内におけるコナラ萌芽枝の放射性物質蓄積経過 第2報
渡邊広大・目黒 渚（宮城県林技セ）

- 8 裸地化した土地へのワラビポット苗植栽
中村人史・渡部公一（山形県森研セ）・海老名寛（国土防災技術山形支店）
- 9 球根状に加工した綿製布を用いたキノコ栽培ー「きのこの球根」の理科教材としての活用等ー
菅原冬樹・鈴木博美（秋田県林研セ）・田中修（甲南大学）
- 10 栽培環境の違いがブナシメジの発生に与える影響～低コストきのこの栽培普及に向けた取り組み～
鈴木博美・菅原冬樹（秋田県林研セ）
- 11 スギ原木径級別ラミナ強度分布について
阿部由紀子・小川秀樹・村上 香（福島県林研セ）
- 12 県産広葉樹の製品化に向けた木材加工技術の開発ー木材の加工ー
皆川 豊・大西裕二（宮城県林技セ）・玉川和子（宮城県仙台地方振興事務所）
- 13 松くい虫被害木の木質バイオマス利用の可能性と課題
大塚生美・中村克則（森林総研東北）・林 雅秀（山形大農）
- 14 山形県の森林組合における素材生産性向上の状況について
志藤 彰（山形県森研セ）
- 15 航空レーザー計測によるスギ・アカマツ混交林の材積推定ー山館実験林を対象としてー
土屋 慧（青森県産技セ林研）・大野勝正（アジア航測株式会社）・山田誠（株式会社興和）
- 16 高密度と低密度での航空機 LiDAR 計測のコスト分析
小谷英司（森林総研東北）・田中真哉（森林総研関西）
- 17 宮城県におけるニホンジカ生息密度指標の経年変化
佐々木智恵（宮城県林技セ）
- 18 山形県において近年発生した森林被害Ⅱ
齊藤正一・古澤優佳・千葉 翔（山形県森研セ）
- 19 アオダモを加害するトネリコクロハバチの生態と黄色トラップによる誘殺
磯野昌弘（森林総研東北）
- 20 カツラマルカイガラムシの嗜好性と秋田県における生息分布
長岐昭彦（秋田県林研セ）

ポスターセッション2日目

8月25日（金）10:30-13:00 〈交流学习室(1)〉

9:30-10:30 ポスター準備

12:00-13:00 コアタイム

13:00-14:00 ポスター回収

- 1 火山地域における樹木を含む土砂災害の減災に向けての検討
～水温特性、土質試験および地形解析による検討～
王 凱（岩手大院農）・井良沢道也（岩手大農）・中村 傑（国交省東北地方整備局）・坂田貴範（北海道庁）
- 2 浸透能に与える人工物設置と懸濁物質の影響
阿部俊夫（森林総研東北）・岡本 隆・篠宮佳樹（森林総研）
- 3 広葉樹林帯の落葉期における防風効果
新田響平・和田 覚（秋田県林研セ）・萩野裕章（森林総研東北）
- 4 マツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ採種園の現況と改良
川上鉄也（福島県林研セ）
- 5 アカマツのマツノザイセンチュウ接種検定による西日本産抵抗性採種園種子との生存率比較
蓬田英俊（岩手県林技セ）
- 6 マツノザイセンチュウ抵抗性クロマツ採種園の着花特性
今野幸則（宮城県林技セ）

- 7 林冠木の伐採率の違いが林床の高木性稚樹の出現と成長に与える影響
河部恭子・今野幸則（宮城県林技セ）・田中一登（宮城県農林水産部森林整備課）
- 8 ショウロ感染苗の植栽試験
目黒 渚・渡邊広大（宮城県林技セ）・栗栖敏浩（㈱環境総合テクノス）
- 9 山形県におけるカラマツ造林地の実態
上野 満・宮下智弘・伊藤 聡（山形県森研セ）
- 10 被害林再生に向けたオオシラビソの種子精選と発芽促進
千葉 翔・齊藤正一（山形県森研セ）・齊藤雅哉（山形森林管理署）
- 11 コナラの更新に与える機械地床処理の影響
沼宮内信之（日本森林技術協会）・緑川 巧・白旗 学（岩手大農）・橋本良二（放送大岩手）
- 12 クロマツ海岸林の低コスト管理を考慮した植栽本数の検討
伊藤 聡・渡部公一（山形県森研セ）
- 13 海岸林盛土基盤上に植栽されたマツ苗木の成長—植栽区画内の土壌水分分布と苗木成長—
白旗 学・石垣俊哉（岩手大農）・橋本良二（放送大岩手）
- 14 スギ人工林の間伐に対する自生広葉樹の応答—対照流域における毎木調査結果から—
和田 覚・金子智紀・長岐昭彦・新田響平（秋田県林研セ）
- 15 青森県のスギコンテナ苗植栽地で発生した獣害
矢本智之（青森県産技セ林研）
- 16 青森県太平洋沿岸におけるクロマツコンテナ苗の導入試験
伊藤昌明（青森県産技セ林研）
- 17 コンテナ苗の育成密度と苗形状比の改善
渡部公一（山形県森研セ）
- 18 一貫作業を実施した造林地における植栽木と雑草木の競合状態
野口麻穂子・八木橋 勉・天野智将・齋藤智之・梶本卓也（森林総研東北）
- 19 土壌呼吸の長期連続観測による安比高原落葉広葉樹林における年間土壌呼吸量の動向
小野賢二・野口宏典・八木橋 勉（森林総研東北）
安田幸生（森林総研）・橋本 徹（森林総研北海道）
- 20 タケノコの放射性セシウム経根吸収実態の調査
齋藤諒次・小川秀樹（福島県林研セ）

口頭発表

8月25日（金）9:30-12:30 〈イベントホール〉

口頭発表は1題30分（発表25分、質疑応答5分）厳守でお願いします。発表者は、次の発表の座長を務めて下さい。使用機材は液晶プロジェクターです。配付資料のある発表者は御自身で必要枚数をご準備下さい。USBフラッシュメモリ等に保存したPowerPoint用ファイルを、当日口頭発表開始前までに会場係にお渡しください。なお、会場のパソコンはWindows7、PowerPointのバージョンは「2010」の予定です。円滑な進行のため、パソコンの持ち込みはお断りいたします。

9:30-10:00 1 近赤外線選別種子によるコンテナ苗生産の低コスト化への取り組み（第一報）

—秋田県産スギ種子の発芽率と播種作業への効果—

天野智将・駒木貴彰（森林総研東北）・佐藤博文（秋田県林研セ）
飛田博順（森林総研）・松田修（九州大学理学研究院）

- 10:00-10:30 2 林業用除草剤の主伐前散布による下刈作業の省力化・軽労化試験事例
外館聖八朗・吉田佳右（ノースジャパン素流協）
- 10:30-11:00 3 岩手県沿岸における落葉広葉樹植栽の造林学上の要点
橋本良二（放送大岩手）・秋山あゆみ（岩手大農）
野田坂伸也（(株)野田坂緑研究所）・照井隆一・村井 宏（森と緑の研究所）
- 11:00-11:30 4 安比高原ブナ林における細根生産量の推定
野口享太郎・小野賢二（森林総研東北）
- 11:30-12:00 5 津波で被災した海岸林に残存する樹林地内で観測した地温、地熱流束の季節変化
齋藤武史（森林総研東北）・村井 宏（森と緑の研究所）
- 12:00-12:30 6 GM管式サーベイメータを利用した樹皮の放射性Cs濃度の簡易推定手法の検討
小川秀樹（福島県林研セ）
櫻井哲史・吉田博久（首都大学東京大学院都市環境科学研究科）

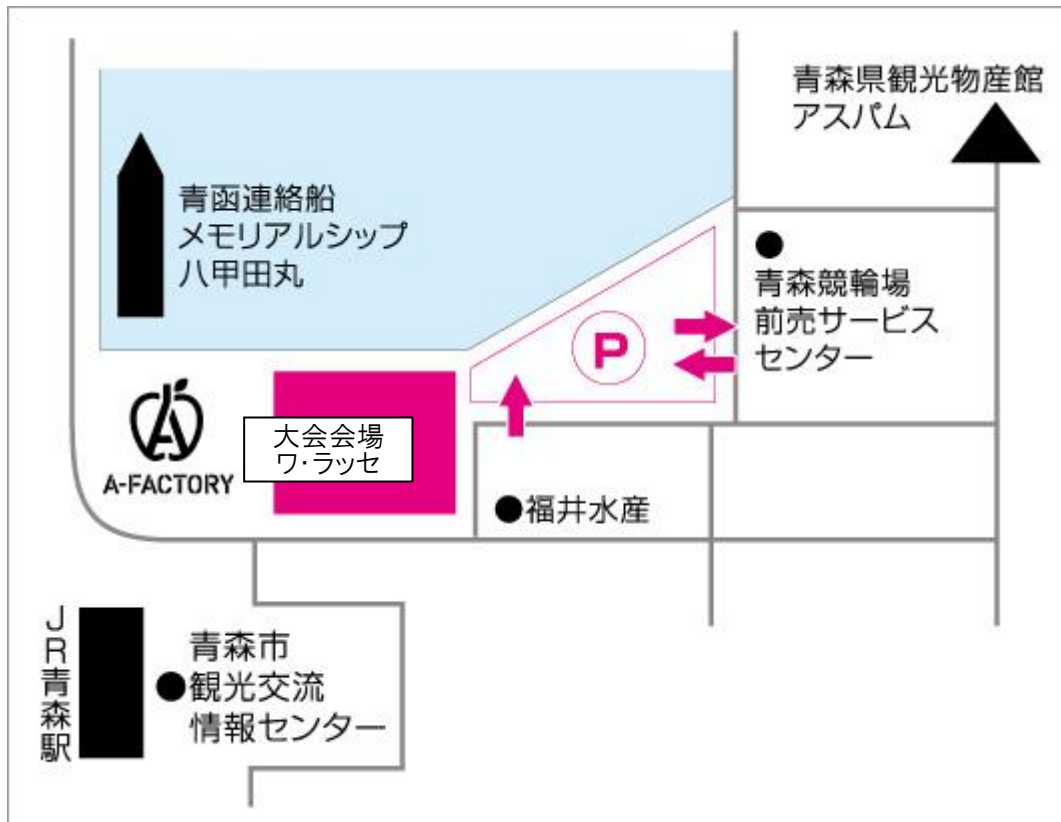
会場等の案内

ワ・ラッセへのアクセスは、公共交通機関等をご利用ください。

(<http://www.nebuta.jp/warasse/access.html>)

宿泊については各自ご対応ください。

大会会場案内図



【JR青森駅から】

徒歩1分

※自動車でお越しの方は、近隣の有料駐車場が利用できます。

大会に関する問い合わせ先

〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目 18-8

岩手大学農学部森林科学科内

第22回東北森林科学会大会運営委員会

事務局：伊藤 幸男 TEL & FAX 019-621-6280

E-mail : kikaku@tsfs.jp